

非核の政府を求める石川の会 会報

# 非核・いしかわ

非核石川の会第二六回総会記念

## 非核・平和・沖縄の集い開く



主催者挨拶する五十嵐正博代表（左）と講師の清水暁氏

六月一日、『高江にヘリパッドいらぬ住民の会』の清水暁さん（金沢市出身）をお招きし「やんばるの森 高江の現状」と題して非核平和・沖縄の集いを開催しました。ご協賛を頂きました九団体の皆様には心よりお礼を申し上げます。

集いの模様を報告します。

挨拶で五十嵐正博代表世話人は「安倍総理は国民の生命や安全を言うが全くの嘘で、集団的自衛権行使容認の危険な政策を止めることが緊急に必要となっている。昨年一月映画『標的の村』を観て、沖縄の置かれている現状に涙と怒りとショックを受け、その後、座り込み行動に参加している高江の実情を多くの人に知って欲しい思いが今日の集いになった。清水暁さんの三線演奏もご期待下さい」と紹介されました。

**DVD『やんばるからのメッセージ』を観る**  
美しい森、清流の景、明るく元気な子どもたち、鳥の声、米軍ヘリの爆音、防衛局職員に納得のいく説明を求める住民の叫び、反論できない防衛局職員に六十年の沖縄の苦しみを切々と訴える住民。弾圧と分断が目的のスラップ裁判。座り込みの支援者は「高江住民だけの問題でない。親と子どもの静かな生活と平和な沖縄を守りたい。ただそれだけです」凝縮された一〇分のDVDは終わる（大きな拍手）

スライドを写しながら生の沖縄！

### 非核 5 項目

- ① 全人類共通の緊急課題として核戦争防止、核兵器廃絶の実現を求める。
- ② 国是とされる非核三原則を厳守する。
- ③ 日本の核戦場化へのすべての措置を阻止する。
- ④ 国家補償による被爆者援護法を制定する。
- ⑤ 原水爆禁止世界大会のこれまでの合意にもとづいて国際連帯を強化する



まるで安倍クーデター。憲法解釈変更による集団的自衛権の行使容認は立憲主義の破壊そのもの。そもそも「尖閣」

防衛は「個別的」であり、集団的自衛権と何の関係もない。この行使は「どうぞ攻撃して」と言うに等しい。消費税増税と法人税減税は誰のために為しているかを如実に示した。トヨタは法人税を五年間払っていない。秘密保護法は、勝手に「特定秘密」を制定してひた隠し、国民を監視し、市民の知る権利を奪う。「愛国心」教育改革、グローバル人材育成路線の大学改革、混合診療を拡大して生命の沙汰も金次第にする社会保障制度改革等々、枚挙に暇がない▼これらは新自由主義的な市場原理至上主義と、従来型観念からの動機によるが、一方で彼らの手詰まり状態を示している。原発再稼働や原発輸出への策略も相変わらずだ▼そこでいま問われているのは変動する世界と日本の未来社会について語る意義であろう。未来社会を人類の「前史」ではなく「本史」と位置付け、明るい近未来を語ることは、人類の潜在力が全面的に發揮される壮大な社会を展望することだ。まだ誰も見たことではないが、人間として追求に値する▼政権は国民との矛盾を深めて脆くなっている。クーデターは「墓堀人が墓を掘る（マルクス）」過程となり得よう。（ま）

今日は。金沢に招いていただき、高江の報告が出る機会をいただき感謝しています。『Voice of TAKEE』のリポートに沿って一時間ほど話します。

## 高江は怪獣の口の中

やんばるの森は素晴らしい自然が残っておりですが、一方で米軍基地があり沖縄の人たちは抑圧されている現状があります。それを伝えることが出来たら嬉しいです。海兵隊の訓練基地、北部訓練場を怪獣とすると怪獣の口の中が高江です。

## やんばるの森と生き物たち

深い森に囲まれた地域をやんばる(山原)と言い、高江は別名ブロッコリーの森と呼ばれています。雨も多く台風強いこの森には千種以上の高等植物や五千種以上の動物があり、固有種や絶滅危惧種が生息し、国際自然保護連合が保護を求めるほどの世界的に貴重な生物多様性のある宝庫です。

絶滅危惧種ノグチゲラ、日本で一番小さいシジミ蝶、小さい川には珍しい生き物がいます。蘭の種類も多い。リュウキュウヤマガメは、七年前には沢山いたが今は少ない。美しいリュウキュウハグロトンボ、オキナワキノボリトカゲは子どもたちが捕まえて一緒に遊んでいます。ウラジログシの実を疍(ねぐら)にするケナガネズミやハブ。高江は有機農業が盛んな所で農薬を使わないから川には魚がいて野鳥もきます。

## 美しい東村・高江と米軍基地

高江の集落は人口一五〇人、中学生以下は約二割、子どもたちはのびのびと育っています。スライドの『ヘリが草を吹き飛ばし』『手を振る米兵』『座り込

みの住民と支援者』『粉塵を上げて走る大きな米軍車輛』の示すとおり、安心して道を歩けない状況があります。

北部訓練場はジャングルの戦闘訓練目的で造られました。電柱に目印をし、それを目標にヘリが飛び、墜落したこともあります。

海兵隊は一週間〜一〇日間交代で訓練に来ます。新兵訓練を受けると直ぐに命じられたことをするようになります。サバイバル訓練は庭先や畑など生活の場へ突然出てくるので怖いのです。

## 何故高江にヘリパッド

SACO協賛で北部訓練場の半分を返還条件に返還予定地にあるヘリパッドを高江の周辺に移設することを合意しました。オスプレイが使うことをひた隠し、今も明言をしていません。

新しく六か所のヘリパッドが集落を取り囲むように建設を予定、二か所の工事は終わっています。高江の海岸は一〇〇m位の断崖が多く、高江に拘る別の理由があることを後から知りました。平坦な宇嘉川河口を利用した上陸訓練のための水域と土地があり、水陸両面からオスプレイの訓練が出来ることでした。

米兵による暴行事件後、『沖縄の基地負担軽減』を口実にしたSACO合意は『新しい海と陸を結ぶ機能的な訓練場建設』でした。普天間飛行場の辺野古移設でも新しい軍港を併設しようとしています。面積が減るから基地負担軽減と行政はいつています。

## 危険なオスプレイ

オスプレイは構造的に問題があり欠陥があります。

オスプレイ製造には全米四〇州二千社の軍需産業の利害があり、経済と雇用対策で計画が続行されています。オスプレイ一機一〇〇億円、これを二四機配備しました。自衛隊も導入するといえます。

小松基地を利用することも考えられます。海兵隊は、ベトナム戦争のころ各地にキャンプをつくり一番先に乗り込んでいきました。現代の戦争は無人数飛行機とかの時代だから海兵隊は時代遅れと言われています。

## 前代未聞！国が住民を訴えるスラップ裁判

座り込み住民を国の言いなりにならないから裁判をして排除する。こんな裁判は米国などでは禁止されていて、仮処分申請や控訴はすぐ却下されます。

## 間違いだらけの仮処分

沖縄防衛局は座り込みが工事車輛を妨害しているとして、『通行妨害禁止』の仮処分を申請しました。座り込みは県内外からも多くの人が参加していたが高江の住民ばかり一五人が訴えられました。中には一度も現場にいたことの無い子どもまでが含まれていました。国が裁判所に提出した書類は人違いが多く、基本的な人物や車輛、行為すらも特定できない、ずさんなものです。分断目的の理不尽な裁判はまだまだ続きます。署名も集めていますのでよろしく願います。

## 沖縄の水が危ない 水源地で枯れ葉剤

五つのダムは沖縄の人たちの必要量六〇%を賄っています。ベトナム戦争時代、水源地で枯れ葉剤を散布していたことも明らかになりました。水源地にある北部訓練場は早く無くなくなって欲しいです。

## キチとカネとアメとムチ

東村村長は「オスプレイ配備は反対だが、ヘリパッド建設は賛成」と言っている。在日米軍基地再編交付金などアメとムチの政策が露骨になってきています。交付金でやんばるの森を伐採し網の目のように林道を造っています。沖縄の土は赤土で、木を伐採すると赤土は海に流れやすく、海の生き物の生息地が無くなるのです。辺野古など東側はサンゴの海が残っています。樹木はチップにしかならなりません。

### 高江は今、支援者を求めています

村議会は二度ヘリパッド反対決議をしました。計画の見直しを要請してきたが説明も話し合いも無く住民の声を無視し、二〇〇七年七月二日強行に工事を開始しました。

そのため、私たちは座り込みしか手立てが無くなりました。この日から座り込みによる抗議と説得を続けています。高江の住民では人数は足りません。今日も座り込みは続けられています。高江は戦争のできる国に向かう最前線になってしまいました。

自らと子どもたちの命を守るため、座り込みの支援をお願いします。高江には静かな朝、鳥の声、満天の星があります。自然に触れながら座り込みを！

### 七月から工事再開 座り込みも！

七月から、M1の山中に二つヘリパッドを造る工事が始まります。新川ダムに赤土が流れる心配もあります。普通そんな工事はあり得ないと言います。

七月から座り込みも強化します。ヘリパッドが出来たから「仕方がない」でなく提供しない、使わせない闘いをしていきます。

オスプレイは一つのヘリパッドに年間六〇〇回、

N4地区に二か所あるので二二〇〇回の離発着になります。集落を取り囲むようになるから生活に大きな影響が出ます。当局は悪いことを解っており、不利と知っているから話し合いが出来ないのです。『標的の村』をブログで紹介すると、各地から反応があり、石川県では九か所で上映会をしていただきました。観た人は日本で一番多いでしょう。母親大会でもみんな観たと言っていました。

凄いですね映画は。高江が知られました。私たちは話し合いを求めて行きます。(大きな拍手)



三線であう清水暁さん

生活の柄せいかつから 沖縄県出身の詩人 山之内 獏の詩

沖縄民謡

高田渡 作曲

切々と素晴らしい歌唱でした。

(清水暁さんの講演要旨は非核石川の会ホームページ <http://hikakuishikawa.com/>で詳しく読むことができます。文責は非核いしかわ編集部)



非核・平和・沖縄のつどいには県内9団体から協賛があり、会場いっぱいの参加者がありました。(6月1日、石川民医連会館)

非核石川の会 第二六回総会を開く  
二〇一五年へ 核兵器全面禁止・廃絶  
非核平和の日本の実現めざし  
力を尽くしましょう

非核石川の会第二六回総会が六月一日、石川民医連会館三階会議室で開かれ、「非核・平和行政の発展のため各自自治体への継続的な働きかけ」「原水爆禁止世界大会や二〇一五年NPT再検討会議への要請行動への代表派遣」「会の運動継承・発展のため、会員の拡大や会報二〇〇号記念の冊子発行」等の二〇一四年度活動方針が承認されました。

会務報告のなかで、プロジェクトを使って今年四月に開設した非核石川の会ホームページについて説明し、非核の世論づくりや被爆絵画、被爆写真などの保存・継承のツールとしての活用を呼びかけ、好評を得ました。

## 二〇一四年原水爆禁止国民平和大行進 ただ今、県内行進中

### 輪島市

六月八日午前一〇時、輪島市役所前で出発式。輪島市長より励ましのメッセージ、ペナントと被爆者援護連帯募金（ペットボトル募金）を課長さんより受け取りました。九二歳の方も元気に行進に参加されました。歩行者天国の朝市通りでは観光客でにぎわう中を、「石川県の平和行進です」と手を振りながら歩きました。朝市のおばさんたちが予め配布してあった署名用紙に「書いたよ」と言って行進団に一一八筆の署名を渡してくれました。

### 能登町

午後二時一五分宇出津駅に駆けつけてくれた地元の人を交え、九人で役場まで行進。日曜にもかかわらず課長さんをはじめ職員四人が出迎えてくださり、メッセージ、募金、署名とペナントをいただきました。

### 珠洲市

八日午後三時、市役所で募金を受け取り、シーサイドまで行進。そこで署名活動を行いました。

翌九日午前八時半、市役所に募金のお礼に行きました。みんなでお礼を伝えたくて課長さんの来られるのを待ちました。県内通し行進者の奥護さんが挨拶とお礼を述べました。

### 穴水町

午前一〇時、地元の方二人が参加、八人で役場まで行進。副町長以下一六人が拍手で迎えて下さいま

した。メッセージ、募金、署名とペナントをいただきました。

### 志賀町

午後一時、高浜バス停から地元の方六人、羽咋から参加の人たちと一九人で行進。「核兵器廃絶の横断幕」を掲げて行進しました。小泉勝町長さんと職員一人に拍手で迎えていただきました。

### 中能登町

午後三時四五分、一青交差点を一人八人が役場に向かって行進。下校中の小学生に、風船やティッシュを配りながら行進しました。今年も杉本栄蔵町長さん、岩井礼二議長さんと職員一人八人に迎えていただきました。

### 七尾市

午後六時出発式には、課長さんをはじめ職員三人の出席があり、市長メッセージ、募金、署名をいただきました。河崎俊栄さん（石川県宗平協代表）の格調高い挨拶の後、うちわ太鼓を打ち鳴らし、行進アナウンスのリードの下、力強いシュプレヒコールで元気よく市内を行進しました。解散式にあたって地域労連議長が挨拶されるなど、地元の運営が心強く感じました。

（内藤晴一郎 記）

◎国民平和大行進は六月一四日、倶利伽羅峠で富山県行進団から「富山―広島コースの横断幕」を引き継ぎ、現在県内を行進中です。六月二四日、吉崎御坊で福井県行進団に引き継がれます。



6月14日、県境の九折（つづらおり）で富山県行進団との引き継ぎ式で挨拶する大森定嗣さん（右から2人目）

### 平和行進の引き継ぎ式

#### 大森定嗣県実行委員長の挨拶

今年の原水爆禁止国民大行進は「戦争をする国づくり」へと暴走する安倍内閣に対抗する運動を並行して強めていきたい。今まで日本は七〇年間戦争をしなかった誇り高い実績があることを確認したい。

来年二〇一五年春に国連でNPT再検討会議が開かれる。今年の平和行進のゴールは広島、長崎であると同時にニューヨークである。すでにNPT再検討会議への国際要請行動の代表派遣を決めたところもあるが、まだまだテンポが遅い印象がある。今回の平和行進の取り組みを通じて、ニューヨークへの要請団を派遣する意志固めを期待する。

## 平和事業に関する

### 自治体アンケートの集約結果

二〇一二年四月、二〇一三年七月に続き、三年連続で実施した「二〇一四年度平和事業に関する自治体アンケート」の集約結果を報告します。アンケート集約結果一覧は本紙号外を参照ください。

#### ① 平和事業に関する予算額

特筆されるのは、平和市長会議に加盟した二〇一一年度から「平和写真パネル展」等を企画している七尾市と二五年連続で、中学生を広島の平和記念式典に派遣している野々市市です。このような非核平和施策の先進自治体での継続実施、拡充を期待しています。他の自治体は僅少か、あるいは予算ゼロの自治体が一三か所もありました。各自治体における平和事業計画を参照いただき、必要十分な予算計上を要望します。

#### ② 二〇一四年度の平和事業計画

平和事業計画では、六自治体が「原爆写真パネル展」を開催、二自治体が住民団体に展示スペースを提供しています。五月中頃に原水爆禁止国民平和実行進の事前要請のため各自治体を訪問した際に、日本原水爆被害者団体協議会が二〇一二年に制作した「原爆写真パネル」を「新たに購入する」とか「前向きに検討中」と回答された自治体もありました。核兵器の非人道性、被爆の実相を次の世代に伝える「原爆写真パネル展」が、自治体と住民団体が連携して全ての市町で開催されることを期待します。

#### ③ 常設の非核・平和資料館又は施設

非核・平和宣言塔や記念があるのは七自治体であり、この外、小松市は平和行進が県内を通過する時期に市役所前に懸垂幕『非核・宣言都市・こまつ』を掲示しています。全ての自治体が非核宣言していることを広報するため、「非核宣言塔」等を建立されることを要望します。

#### ④ 平和首長会議「NO100アクション」

平和首長会議は、二〇二〇年までに核兵器廃絶を目指す行動指針「二〇二〇年ビジョン（核兵器廃絶のための緊急行動）」を策定し、世界の都市、市民、NGO等と連帯しながら、核兵器廃絶に向けた様々な活動を展開しています。

加盟自治体（九か所）における「二〇二〇ビジョン」の取り組みは半数に満たず、まだまだ不十分です。被爆七〇周年となる二〇一五年NPT再検討会議に向けて核兵器廃絶、平和の流れを確実にするために、加盟自治体には「一歩踏み出す」事業展開を期待します。

#### ⑤ 平和首長会議への加盟について

昨年八月広島で開かれた第八回平和市長会議総会では、名称を「平和首長会議」と改正し、より多くの自治体の加盟を呼びかけています。また総会では、「核兵器廃絶に向けて各国政府に具体的な対応を促す市民の声を大きくし、核兵器廃絶の国際世論を拡大すること。そのためには、加盟都市のさらなる拡大と都市・地域・世界それぞれのレベルでの主体的・自主的な活動の展開が必要」であると、「平和市長会議行動計画（二〇一三年―二〇一七年）」

# NO NUKES

子どもの  
未来のために



ちひろ美術館

が採択されました（平和首長会議ホームページを参照）。

未加盟自治体（二一か所）からの回答は、「加盟に向けて検討中」五か所、「加盟の予定はない」四か所、「未回答（未記入）」が二か所でした。

未加盟自治体には速やかな「前向きな検討」を切望するとともに、「平和市長会議行動計画（二〇一三年―二〇一七年）」にもとづく主体的・自主的な活動の展開を要望します。

（編集部・注）

非核石川の会ホームページの「自治体情報」に今回の「平和事業に関する自治体アンケート集約結果」一覧を掲載しました。二〇一二年度及び二〇一三年度のアンケート集約結果も掲載してありますのでご利用いただければ幸いです。

## 特別寄稿

## 安倍政権の

## 「エネルギー基本計画」を斬る(上)

児玉一八

安倍政権は四月一二日に「エネルギー基本計画」を閣議決定しました。前のエネルギー基本計画は二〇一〇年六月に民主党政権によって策定され、原子力発電は「安定供給、環境適合性、経済効率性を同時に満たす基幹エネルギー」と位置づけられました。その後、一一年三月に福島原発事故が発生。原発からの撤退を求める国民世論におされ、民主党政権はきわめて不十分ながらも二〇三〇年代に原発ゼロをめざす」とする目標をかかげました。

新「エネルギー基本計画」(以下、新「計画」)は、原子力発電を「準国産エネルギー」として、安定供給と効率性を有し、温室効果ガスの排出もなく、重要なベースロード電源」と位置づけました。歴代自民党政権が地震列島の上に欠陥原発を作り続けて、ついに苛酷事故を引き起こした責任をまったく自覚せず、福島原発事故などなかったかのように、原発を使い続けることを宣言した恥知らずの計画です。

前「基本計画」は、「二〇二〇年までに九基の原発新増設、三〇年までに少なくとも十四基以上の新増設。原子力を含むゼロエミッション電源比を二〇年までに約五〇%以上、三〇年までに約七〇%とする」との数値目標を盛り込みました。

ところが新「計画」は、「原子力規制委員会により世界で最も厳しい水準の規制基準に適合すると認められた場合、再稼働を進める。原発依存度は、可能な限り低減させる」と述べるだけで、電源構成

の目標となる数値などをまったく盛り込んでいません。数値目標も盛り込まないものが「エネルギー基本計画」に値するとは思えません。数値を盛り込めなかったこと自体が、国民世論が自民政権を追い込んでいる反映とも言えるでしょう。

三回にわたって問題点を分析します。

エネルギー政策基本法は、国のエネルギー・原子力政策の方針を定めるための基本となる計画を策定し、経済産業省を中心とする関連官庁と地方自治体が計画に従った方策を実施するとし、「エネルギー基本計画」は三年ごとに見直しが行われることになっています。

近年の原子力政策は、「エネルギー基本計画」とともに、原子力委員会が策定する「原子力政策大綱」(以前は「原子力開発利用長期基本計画」)にそって行うものとされてきました。しかし、安倍政権は原子力委員会の権限を縮小して、原子力発電と核燃料サイクルの実施は「エネルギー基本計画」で行うことを決め、その中で「原子力平和利用三原則」も骨抜きにされてしまいました。

新「計画」の構成は以下のようになっています。

第一章 我が国のエネルギー需給構造が抱える課題

第二章 エネルギーの需給に関する施策についての基本的な方針

第三章 エネルギーの需給に関する長期的、総合的かつ計画的に講ずべき施策

第四章 戦略的な技術開発の推進(エネルギーの需給に関する施策を長期的、総合的かつ計画的に推

進するために重点的に研究開発するための施策を講ずべきエネルギーに関する技術及び施策)

第五章 国民各層とのコミュニケーションとエネルギーに関する理解の深化(エネルギーの需給に関する施策を長期的、総合的かつ計画的に推進するために必要な事項)

新「計画」の冒頭には、「我が国は、エネルギー源の中心となつている化石燃料に乏しく、その大宗を海外からの輸入に頼るといふ根本的な脆弱性を抱えており、エネルギーを巡る国内外の状況の変化に大きな影響を受けやすい構造を有している」とあります。日本のエネルギー自給率の低さは、「自然現象」でもあるかのような書き方です。

五〇数年前には、日本のエネルギー自給率は五六%でした。ところが二〇〇八年には四%まで低下。歴代自民政権が国内炭鉱の閉山を強行し、米国に追従して石油、さらには原発推進を強行した結果がこの数字です。

福島原発事故の前には、原発は日本の発電量の約三五%を占めていました。これは、契約口数ではわずか〇・〇%にすぎない大工場や大規模施設が消費する電力量に相当します。これは偶然の一致ではありません。原発はそもそも、産業・重化学工業用の高密度、大容量の電源として建設が進められ、へき地にたつ原発から大工業地帯に向けて、電力会社別の巨大送電網が延々とびていきました。

新「計画」は、こうした電力供給体制を永続化させようとしています。

(核・エネルギー情報センター理事、本会世話人)

## 非核石川の会 リレーエッセイ

政府は、国民の「生命・くらし」を  
本当に守ってほしい

中杉治雄

憲法は国民から政府に出した注文書です。なかでも最大の注文は「政府の行為によって再び戦争の惨禍が起こることのないようにすること」(前文)です。

安倍首相は、今までの政府解釈を変えて、海外で戦争できる国になれるよう熱心に策動しています。明治維新以来使用されてきた「富国強兵」のスローガンを、内容は同じだけど言葉だけ変えて「国際競争力強化、抑止力強化、積極的平和主義」を唱えているように思います。

戦前の軍隊(天皇の軍隊だった)は、何を守り闘ったか? 満州では、南方では、沖縄では、広島・長崎や本土各地では? カイライ政権の樹立、物的・人的資源の略奪、沖縄では捨て石作戦に住民を巻き込み、集団自決まで強要、本土空襲への無策、敗戦時の関東軍の住民・開拓民の置き去り・・・等。

戦争が進行する下での軍隊の状況、一般国民のくらしや何を思い生きていたのか、教育・情報・文化等の状況はどうだったか。暮らしの手帳編「戦争中の暮らしの記録」や開拓民・被災者・戦没学生の数々の手記・記録、「人間の条件」「真空地帯」「少年H」「銃口」等、一部映画化されたベストセラー、井上ひさしの「紙屋町さくらホテル」等のお芝居・戯曲の数々。戦争と人間を深く考えさせ感銘を与えてくれたものは多い。

「国家の目」でなく「人間の目」で人間・社会・

歴史を見て考え、「人間優先」(主権者は国民)の立場で平和・民主・人権・生活上の基本的課題の解決に本腰を入れるよう政府に要求していきたい。

「政府は憲法を守り、本腰を入れて活用せよ!」の声を高め、悪政に対決し、対案を出し、世論を高め、共同連帯の輪を広めよう。

## 詩人会議かなざわ「独標」より

### あき風とあか色と

尾川 義雄

あかい幟を翻し遊覧船が  
あかい朝陽橋を潜り大手口へ向け  
あかく紅葉しかけた古木の蔭を  
かたちづくり なしくずし  
濠いっばい湾曲に映し航跡に追われてゆく

二十年前 この地に勤務し  
幾渡かひとり公園を歩き園内の動物園で  
檻の中の猿をじっと見ていた  
十匹ばかりの大小の猿は  
喧嘩をしたり相手の背をむしったり  
中型の一匹は サラリーマン末期の  
行き場の無い僕の心動きを見透かしてか  
逆立ちして体をくねり  
あかい尻を向け  
あかい顔の中の黒く縁取った眼で僕を見据え  
にいーつと皮肉ぽい顔をして起き上がり  
肩を揺すり壁の向うに消えたが  
後々記憶に残った

二十年前と同じように  
朝陽橋を渡って遊覧船の方向へ歩き  
大手口に立つ高山右近像を仰ぐ

高岡城はキリシタン大名 高山右近の設計  
銅像の前に並び咲くサルビアの

あかい花は  
生涯 信を貫いた右近の心魂を称えるよう  
大きく風に吹かれて

公園近くの高岡大仏では蓮座に大佛祭の

あかい提灯が奉じられ  
あかいカーネーションを  
女性や子どもが  
僧侶の読経のなか 次々供え

長かった暑さがゆるみ  
あきらしい風が景色を撫ぜ  
あか色が人々に生氣をもたらし  
僕もまた背を押されて

## 編集室より

◎非核石川の会HPを開設して約二か月、九〇〇件余の閲覧があった。アクセスの手段は「会報『非核・いしかわ』紹介」「非核石川の会」「リンク集」がベストスリーである。会報バックナンバーをHPに掲載した甲斐があった。おかげで最近では「非核の政府 石川」でインターネット検索すればHPを閲覧することができる。あなたも試してみてください。(か)

故清水正明医師の広島被爆絵画シリーズ

⑩ 死の川

爆心地近くを流れる元安川  
 攝氏七千度という高熱で水が沸とうし  
 一瞬死の川と化した。  
 それから数日の間、  
 川はこわれた家や橋の古材  
 で一杯になり、人や牛馬の  
 死がいで埋められた。  
 まともには見られない、文字通り  
 「目をおほう」惨状が  
 そこここにあった。



(輪島市教育委員会所蔵)

絵手紙コーナー

いつものまに装甲車のパレード

金沢医療生協・絵手紙班 中山清子



《非核平和・行事予定》

- ・六月二十八日(土)九時半～一〇時：映画「標的の村」三上智恵監督講演・一〇時～：映画上映・小松市民センター・主催映画上映実行委員会・入場無料
- ・六月二十八日(土)一三時半～：治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟石川県本部総会・金沢勤労者プラザ四階
- ・六月二十八日(土)一五時～一七時：映画「標的の村」三上智恵監督講演「沖縄の基地問題と映画制作苦労話」石川県教育会館四階・主催映画上映実行委員会
- ・六月二十九日(日)一時～一六時半：九条の会北陸三県交流会・記念講演「いま憲法は旬です」講師平山知子弁護士・テーマ別分科会・高岡市ウイング高岡
- ・六月二十九日(日)一三時半～一六時四五分：石川県社会保障推進協議会総会・記念講演「資本主義の思想と社会保障」講師唐鎌直義立命館大学教授・県女性センター
- ・七月四日(金)一四時：国連に要請団を送る石川県実行委員会事務局会・石川県平和と労働会館
- ・七月六日(日)一三時半～一五時半：講演「安倍『教育改革』をめぐる対抗の現段階と今後の課題」石山久男憲法会議代表幹事／歴史教育者協議会前委員長・金沢勤労者プラザ・主催／子どもと教科書ネット21・いしかわ県民教育文化センター他四団体
- ・七月六日(日)一七時：核廃絶署名行動・金沢駅東口
- ・七月九日(水)一二時：核廃絶署名行動・Mza前
- ・七月二十二日(土)一四時～：平和・民主主義・革新の日本をめざす石川の会総会と記念講演「共同の広がり革新懇ニュースから」乾友行全国革新懇事務室長・金沢市・ITビジネスプラザ六階ホール
- ・七月二十七日(日)一〇時～一二時：反核平和おりづる市民のつどい2014・卯辰山平和の子ら像前・主催同実行委員会
- ・八月二日(土)～三日(日)：日本母親大会「神奈川
- ・八月四日(月)～六日(水)：二〇一四年原水爆禁止世界大会・広島市
- ・八月六日(水)：広島の日
- ・八月四日(月)～一八日(月)：「原爆と人間展」・県庁ロビー・主催・反核平和おりづる市民の集い実行委員会
- ・八月九日(土)：長崎の日
- ・八月九日(土)一二時：核廃絶署名行動日・Mza前
- ・八月十五日(金)：終戦の日

◎編集部注：祝日は休日(国民の休日)と表記します。